

## 建設業と地域の元気回復助成事業 第 2 次募集の選定結果について

### 1. 公募期間

平成 21 年 9 月 1 日（火）～平成 21 年 9 月 30 日（水）

### 2. 応募状況

公募期間内に 188 件の応募がありました。なお、地域別・事業テーマ別の応募状況は以下の通りです。

(1) 地域別の応募状況

ブロック	件数
北海道	18
東北	27
関東	35
北陸	20
中部	12
近畿	21
中国	14
四国	11
九州・沖縄	29
広域	1
合計	188

(2) 分野別の応募状況

事業テーマ	件数
農業	41
林業	13
水産業	6
観光	59
環境	33
福祉	1
その他	35
合計	188

※広域は、事業を実施する地域が複数の都道府県にまたがるもの

※事業テーマの分類は、申請書類をもとに事務局において  
便宜的に区分したものである。

### 3. 審査の方法

地方整備局等における第 1 次審査（書類の形式的確認）、及び外部有識者で構成される審査選定委員会による第 2 次審査を行い、最終的に助成対象事業を決定しました。

なお、審査は、募集要領記載の「審査の観点」を踏まえ、以下の諸点に特に留意して実施しております。

- ・ 事業に取り組む背景や必要性
- ・ 計画（特徴、内容、スケジュール、実施体制）の妥当性
- ・ 地域の建設産業の活性化への寄与度
- ・ 地域の経済の活性化への寄与度

### 4. 選定結果

審査の結果、応募 188 件のうち、53 件を助成対象事業として選定しました。

なお、地域別・事業テーマ別の選定状況は以下の通りです。また、選定事業の一覧については、別紙をご参照ください。

(1) 地域別の選定状況

ブロック	件数
北海道	6
東北	7
関東	10
北陸	5
中部	7
近畿	4
中国	2
四国	4
九州	8
広域	0
合計	53

(2) 分野別の選定状況

事業テーマ	件数
農業	12
林業	4
水産業	2
観光	17
環境	9
福祉	0
その他	9
合計	53

## 5. 主な分野別の代表的事例について

(1) 農業分野

※下線は事業管理者

「雲母（キララ）の地からはじまる宇陀ごぼう建農プロジェクト」（奈良県）

（社）奈良県建設業協会、（社）奈良県建設業協会宇陀支部、奈良県、宇陀市、JAならけん、大和高原南部土地改良区、（財）奈良県農業振興公社、（株）植田建設、植田造園緑化（株）、大内建設（株）、（株）川村組、（株）辻本建設、（株）栃窪建材技研、（株）西本組、（株）結喜建設、顔の見える特選食材流通モデル事業協議会

<概要> 建設業の機材・人材を活用して伝統野菜「宇陀金ごぼう」の再生と裏作野菜等の地元ブランド野菜の生産により、年間を通じた就労機会の平準化を図る。

<主な事業内容>

- ・建設業と農業のコミュニティを形成し、宇陀ごぼうの再生、産地化
- ・宇陀ごぼうと地域ブランド野菜生産による耕作放棄地の再整備、就労機会の拡大
- ・地域ブランド野菜や地域資源を活用した地域経済の活性化の検討、実施

(2) 林業分野

「熟成カラマツ防風林の更新及びカラマツ材によるD型形成集成材の利用促進プロジェクト」（北海道）

標津町、標津建設業協会、標津町森林組合

<概要> 地域一次産業である農業、酪農業の生産圃場の保全の為に、成熟防風林のカラマツ材、間伐材を活用したD形集成材の利用促進の試行的実施により防風カラマツ林の更新を図り、林地残材や工場廃材の有効利用による環境循環事業、カーボンストック等の創出による建設業の活性化及び地域産業の活性化を検討する。

#### <主な事業内容>

- ・地域で防風林として利用されてきた熟成カラマツ林の伐採、間伐、伐根
- ・伐採後の圃場整備及び建築資材として加工利用に有効な樹木の植林
- ・成熟カラマツ材によるD型形成材の試作技術の検討及び強度化の開発・検討

### (3) 観光分野

#### 「くら再生による活力ある地域創生事業」(福島県)

(社)福島県建設業協会、(社)福島県建設業協会喜多方支部、喜多方市建設業組合、(社)福島県建築士会喜多方支部、喜多方市、喜多方蔵の会、会津北方小田付郷町衆会、喜多方観光協会、会津喜多方商工会議所、福島県立喜多方商業高等学校、福島県立喜多方工業高等学校

<概要> 喜多方市内の建設産業が、商業、観光協会、教育機関等と連携し、自然・歴史・文化等の豊富な地域資源を活かすため、「まちセンター」を立ち上げ、蔵の再生を通して地域活性化を図り、さらに、観光産業への新たなビジネスモデルを構築するための調査研究及び実証事業を行う。

#### <主な事業内容>

- ・蔵の保存、利活用、町並み整備や地域資源の有効活用方策等について、建設業、商業、観光協会、教育機関等の役割を調査・分析
- ・建設業の知識・技術・建設機材等を活用した低コスト・効率的な手法による蔵再生、施設の維持、蔵の利活用方策の検討
- ・蔵補修による一棟貸し事業、蔵を利用した宿泊施設等のビジネスモデルの検証
- ・建設産業による「まちセンター」(窓口機能)を創設し蔵の利活用や地域資源を活用する仕組みを構築

### (4) 環境分野

#### 「沖縄県宜野座村のエネルギーの地産地消確立に関する調査事業」(沖縄県)

宜野座村、宜野座村建設業者会、宜野座村商工会、宜野座村堆肥センター、環金武湾地球温暖化対策地域協議会

<概要> 村内のバイオマス資源を活用し、バイオマス液体燃料等低炭素社会に貢献するエネルギーとマテリアル生産事業等を行うための事業実施計画の策定、事業化の可能性について調査を行う。

#### <主な事業内容>

- ・地域バイオマス資源(廃棄物等)を活用したバイオマスエネルギーとマテリアル(液肥)の生産、供給
- ・バイオマス液体燃料技術による島嶼社会型ビジネスモデル化の検討
- ・バイオマス資源活用ビジネスによる農畜産業の振興の推進